

NPO法人 高知県生涯学習支援センター



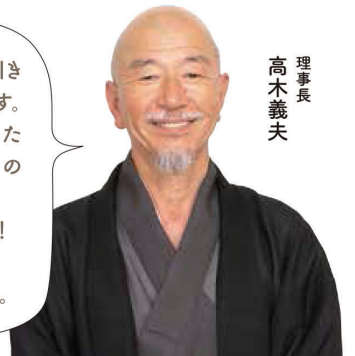
その人とその家族が
ちゃんと根を張って
生きていけるように。



多様な生きづらさを
受けとめ、寄り添う。



隣人が、友人が、親戚が、家族が、引きこもりや発達障害である時代です。一人の親としてこの問題と向き合ったとき子どもの将来を思うと言えない不安を感じます。だから、ぜひ声を聞かせてください！そして、行動を起こしてください！ともに学び、ともに楽しく働きましょう。



理事長
高木義夫

NPO法人

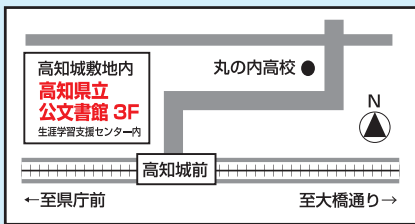
高知県生涯学習支援センター しばてん大学農学部 ひこばえ

ひこばえ デジタル部



このデジタル部では、農園の作業は難しいけど、「ひこばえ」を利用したい！という利用者さんや、引きこもり、何らかの障がいのある方が、就労に向けて就労に必要なワード、エクセル、オンラインの操作を習いたいという皆さんが来られています。パソコンをやった事がないけど興味がある、やってみたい、という方も電源ボタンを入れる基本の操作から始めますので安心です。ボランティアの講師達やスタッフが参加者の能力に合わせてゆっくりと教えているので、ご自身のレベルに合わせて学ぶ事ができています。就労に向けて頑張ってみませんか？

- 教室開催日：月曜日・火曜日・木曜日・金曜日の午前10時～11時半
- 定休日：会場教室の休みの日、夏季休暇・冬期休暇
- 各自持参物：筆記用具、水筒
- 送迎：契約時に決まった場所から公文書館へ送迎致します。



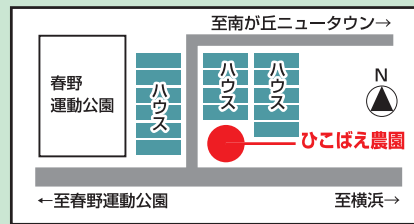
高知県立公文書館3Fにて開催

ひこばえ 農園部・内職部



農園部では、ミニトマト栽培、多肉植物栽培、路地栽培を個人の能力に合わせた就労して頂いております。又、収穫できた野菜などは良心市やイベントでの販売も行っており梱包作業をしています。

- 営業日：月曜日～金曜日
- 定休日：土、日、祭日、金曜日午後(13時以降)、夏季休暇・冬期休暇
- 弁当：各自持参 ※お弁当を注文する事もできます。
◎その都度徴収します。
- 送迎：契約時に決まった場所から春野の農園へ移動します。
(送迎を致します)
- 持ち物：汚れても大丈夫な衣服、長ぐつ、着替え、タオル、水分(水筒)、お弁当(代)など
※貴重品は責任を持ってませんので、ご持参をお控えください。



春野運動公園を目指してお越し頂くと、ひこばえのプレハブとハウスが見えてきます。トマト直売の旗が目印！

デジタル部・農園部・内職部へのご参加にはお申し込みが必要です。

利用の流れ

1 お気軽にお電話下さい

全 般：サービス管理者 村田
090-8971-8872
農園部：施設長 高橋
090-2899-8547
デジタル部：デジタル部長 門脇
090-9773-8826

ご自身の状況等をお伺いし、サービス管理責任者村田に引き継ぎをします。まずはお気軽に見学いらして下さい。

2 見学・面談

農園やデジタル部等、ご希望の場所を見学していただけます。今後どのように取り組んでいくのかなどの打合せをサービス管理責任者、特定支援員さんと一緒に面談を行います。

※ご希望でしたら送迎致します。
※セルフプランの方は、ご相談手続きが異なりますので、ご相談下さい。

3 体験

利用をご希望される方は契約前に別日、体験利用を行っていただけます。一日の流れ、作業所の雰囲気体験していただき、ご自身のペースに合わせた利用を考えます。

4 利用契約

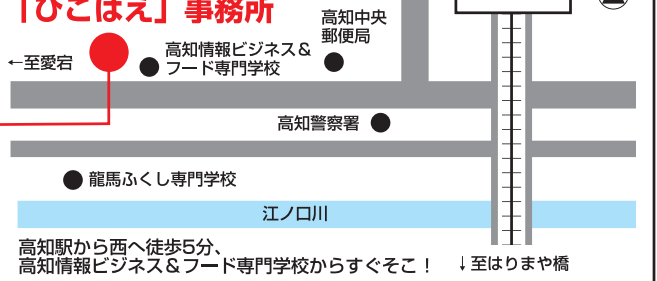
正式に利用へと移る際は、各種手続きが必要です。詳しくはサービス管理責任者にお問い合わせ下さい。体調に合わせた仕事を、まずは午前のみから開始します。生活目標に向けて一緒に考えながら就労訓練をしてゆきます。

ひこばえ事務所へのアクセス



↑こちらの看板が目印です。駐車場がございません。公共交通をご利用いただくか、大通向かい、看板向かって右隣に有料パーキングがございます。

しばてん大学農学部「ひこばえ」事務所



NPO 法人
高知県生涯学習支援センター

事務所電話: **088-855-7606**

〒780-0850 高知県高知市丸の内1丁目1-10-3F
URL: <http://www.kolec.jp> E-mail: info@kolec.jp



ハウス栽培

露地栽培

多肉植物
アレンジ

内職

「ひこばえ」は、今の自分が主人公。

ひこばえが運営する自立支援の農園です。
そこは、ありのままの自分で過ごせる場所。



引きこもりの
自立を目指して。

高知県生涯学習支援センター
しばてん大学農学部「ひこばえ」

理事長 高木 義夫

隣人が、友人が、親戚が、家族が、引きこもりという時代。誰にとっても身近な問題です。一人の親としてこの問題に向き合ったとき、自分のいなくなった後の子どもを将来を思うと言えない不安を感じるのでないでしょうか。子ども達の将来のために、是非、声を聴かせてください。行動を起こしてください。そして全国の親御さんにも、いつかこの取組みの運営に協力していただけるよう、子どもと一緒に高知で野菜や苗づくりをしてみませんか？

当事者とご家族、
立場は違えど
私は理解できる。

しばてん大学農学部「ひこばえ」
施設長兼生活支援員 高橋 昌美

高機能自閉症、発達性協調運動障害、先天性色覚異常という沢山の障害を持つて生まれた我が子。振り返るとどれぐらい私は泣いた事か。障がい者の家族を持つ家庭が、笑って過ごせるまでの人生を経験している私、そして私自身も障害がある。障がい名は違えど、ご家族の思いも痛いほど理解できる。今は、まさに高木理事長がおっしゃる「自分のいなくなった後の子どもの将来」それこそが私の人生で最終最後にしなければならない事。

ウチのチビが言うんですよ。【ひこばえ】を作ってくれたみんな、ありがとう！ボク達みたいに障がいある人達の働ける場所ができたんだね！と。ひこばえの農園や看板を見て安心して、手を叩いて喜んでる姿。私は全力で支援したい。当事者様も、そしてご家族様



をも。ひこばえに来たら安心して言う、いつも素の私で向き合い、皆の未来を願って!!

「しばてん大学デジタル部」では、 パソコン教室を開催しています。

令和3年6月2日、高知新聞にて

「しばてん大学デジタル部」の活動が
紹介されました。

高知

デジタルでひきこもり支援

高知市の「ひこばえ」パソコン講座開催

発達障害やひきこもりなどの就労をサポ
りの方々の就労をサポ
ートしている高知市の
就労継続支援事業所
「ひこばえ」(北本町1
丁目)が、パソコンな
らを使って利用者の社
会参加や就労を目指す
取り組みを新たに始め
た。

「ひこばえ」は、N
PO法人「県生涯学習
支援センター」(高木義
を擁する小学6年の息
子)の「農業はできない
けどパソコンならでき
る」との言葉をきつか
けに、障害で農作業が
できない人や、いきな
りに外に出られないひき
こもりの人らに、パソ
コンやインターネット
を通じて人や社会との
接点を増やしてもらお
うと考えた。

「しばてん大学デジ
タル部」と名付けた講
座は、同センター事務
所がある県立公文書館
(丸の内一丁目)内の
1室にパソコン7台を
構え、月曜と金曜の午
前10時〜正午に開催し
ている。18歳以上が対
象で、参加は無料。
5月10日の初回講座
には10〜60代の5人が
参加し、表計算ソフト
を学んだり、ワープロ
ソフトで自作の詩を打
ち込んだり。ネット環
境を整えば、同じ境遇
に苦しむ人とのつなが
りをオンラインで広げ
ていく予定だ。

高橋さんは「来たい
と思った時に来てもら
うことを大切に、みん
なの『やりたい』をか
なえられる場所にした
い」と話している。問
い合わせは高橋さん
(090・28099・
8547)まで。

(玉置萌恵)

「ひこばえ」は、N
PO法人「県生涯学習
支援センター」(高木義
を擁する小学6年の息
子)の「農業はできない
けどパソコンならでき
る」との言葉をきつか
けに、障害で農作業が
できない人や、いきな
りに外に出られないひき
こもりの人らに、パソ
コンやインターネット
を通じて人や社会との
接点を増やしてもらお
うと考えた。

「しばてん大学デジ
タル部」と名付けた講
座は、同センター事務
所がある県立公文書館
(丸の内一丁目)内の
1室にパソコン7台を
構え、月曜と金曜の午
前10時〜正午に開催し
ている。18歳以上が対
象で、参加は無料。
5月10日の初回講座
には10〜60代の5人が
参加し、表計算ソフト
を学んだり、ワープロ
ソフトで自作の詩を打
ち込んだり。ネット環
境を整えば、同じ境遇
に苦しむ人とのつなが
りをオンラインで広げ
ていく予定だ。

高橋さんは「来たい
と思った時に来てもら
うことを大切に、みん
なの『やりたい』をか
なえられる場所にした
い」と話している。問
い合わせは高橋さん
(090・28099・
8547)まで。

(玉置萌恵)

「利用者さんは「このご時世パソ
コンが役立つと思うので、こうい
う機会を設けてもらってとても良
かった」とインタビューに答えて
いました。このデジタル部には、
農園の作業は難しいけど、「ひこば
え」で就労をしたい!という皆さ
んも来られています。パソコンを
やった事がないけど興味がある、
やってみたい、という方も安心。ポ
ランティアの講師やスタッフが基
本から教えているので、安心して
学ぶ事ができているのです。」

「第3種郵便物認可」
スタジオからパソコンの使い方を教わる参加者
(高知市丸の内一丁目)

高知新聞

デジタルでひきこもり支援

高知市の「ひこばえ」パソコン講座開催

発達障害やひきこもりなどの就労をサポ
りの方々の就労をサポ
ートしている高知市の
就労継続支援事業所
「ひこばえ」(北本町1
丁目)が、パソコンな
らを使って利用者の社
会参加や就労を目指す
取り組みを新たに始め
た。

「ひこばえ」は、N
PO法人「県生涯学習
支援センター」(高木義
を擁する小学6年の息
子)の「農業はできない
けどパソコンならでき
る」との言葉をきつか
けに、障害で農作業が
できない人や、いきな
りに外に出られないひき
こもりの人らに、パソ
コンやインターネット
を通じて人や社会との
接点を増やしてもらお
うと考えた。

「しばてん大学デジ
タル部」と名付けた講
座は、同センター事務
所がある県立公文書館
(丸の内一丁目)内の
1室にパソコン7台を
構え、月曜と金曜の午
前10時〜正午に開催し
ている。18歳以上が対
象で、参加は無料。
5月10日の初回講座
には10〜60代の5人が
参加し、表計算ソフト
を学んだり、ワープロ
ソフトで自作の詩を打
ち込んだり。ネット環
境を整えば、同じ境遇
に苦しむ人とのつなが
りをオンラインで広げ
ていく予定だ。

高橋さんは「来たい
と思った時に来てもら
うことを大切に、みん
なの『やりたい』をか
なえられる場所にした
い」と話している。問
い合わせは高橋さん
(090・28099・
8547)まで。

(玉置萌恵)

「利用者さんは「このご時世パソ
コンが役立つと思うので、こうい
う機会を設けてもらってとても良
かった」とインタビューに答えて
いました。このデジタル部には、
農園の作業は難しいけど、「ひこば
え」で就労をしたい!という皆さ
んも来られています。パソコンを
やった事がないけど興味がある、
やってみたい、という方も安心。ポ
ランティアの講師やスタッフが基
本から教えているので、安心して
学ぶ事ができているのです。」



私達と楽しく
学習しませんか?

コロナ対策も!